

南九州大学発の新品種「南九ブラックボール No.3」

有機栽培 `春作、木城町で初収穫

12日、町交流施設「かしのみ」で収穫祭

南九州大学(学長 中瀬昌之)発の新品種「南九ブラックボール No.3」(通称 NBB)を有機栽培する木城町で、7月12日(土)、町主催の「FUNSUMER `S(ファンシューマーズ) 南九ブラックボール収穫祭」が開催されることとなりました。木城町は2023年、高鍋町とともに「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業を軸とした持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

「南九ブラックボール No.3」は、昨年度より県内各地で栽培が始まっていますが、有機栽培での取り組みは木城町が初めてです。有機という新たな付加価値が加わることで、ブランド力向上につながると期待されます。そして大学と地域が力を合わせ、持続可能な農業と地域活性化の好循環を生み出していきたいと考えております。つきましては、当日の様子について、ぜひ取材をご検討くださいますようお願い申し上げます。

イベント概要

- 日時・場所 2025年7月12日(土) 16:00～
- ①収穫体験&農園ツアー 16:00～、場所:木城町実証ほ場
(ほ場取材をご希望の方は、下記までお問合せください)
- ②収穫祭(試食交流会) 17:00～、木城町世代間交流館「かしのみ」
(〒884-0102 宮崎県児湯郡木城町椎木4175)
- 参加者 木城町 半渡英俊町長ら役場関係者、町内のNBB生産者ら
南九州大学 関西剛康理事、陳蘭庄教授
ほか関係者 15人程度

当日のスケジュール

- 16:00～ 収穫体験&農園ツアー
(木城町実証ほ場)
- 17:00～ 収穫祭(試食交流会)
(交流館「かしのみ」)
- ① あいさつ
(半渡町長、生産者代表者)
- ② 事業、取り組み説明
(陳教授、木城町有機農業推進室泥谷氏)
- ③ 試食交流会スタート
- 19:30～ 終宴予定

南九ブラックボール No.3 とは?



南九州大学環境園芸学部の陳蘭庄教授が、宮崎県の伝統野菜・黒皮かぼちゃと西洋カボチャ系の育成台木品種を掛け合わせて開発したニュー黒皮かぼちゃです。収量の低さがネックの伝統種と比べて、「南九ブラックボール No.3」はつる1本に連続着果する特性があり、多収性を実現しました。また、糖度も向上し、果肉に粉質が導入されたことで、ねっとりなめらかな味わいが楽しめます。伝統野菜・黒皮かぼちゃの一員として、地域に新しい活力を注入し、伝統種を含めた宮崎ブランドの底上げ、地域農業振興にも貢献しうる存在になれるよう、関係者と連携していきたいと考えています。

★ほ場を取材希望の方は、7月11日正午までに木城町役場「有機農業推進室」までご連絡をお願いします。

【収穫祭に関するお問い合わせ】
木城町役場 有機農業推進室
TEL :0983-32-4739

【NBB 研究に関するお問い合わせ】
南九州大学 環境園芸学科 陳
(代)0986-21-2111

【発信元】
南九州大学 経営戦略課 松崎
(代)0985-83-2111